

2161

繪本字袋

八

繪本字袋八



繪本寫真袋八之卷目錄

桐小鳳凰の圖

橘小雛子の圖

竹小雛子の圖

鶴小雛子の圖

雷柳小雛子の圖

木葉小雛子の圖

梅小山鶴の圖

棠小雛子の圖

松小雛子の圖

大和雲の圖

舞鶴の圖

岩小雛子の圖

鶴雛の圖

《寫錦袋目錄八

松小孔雀の圖

竹小雛子の圖

岩小雛子の圖

雲小雛子の圖

芦小雛子の圖

梅小山雛子の圖

雷小雛子の圖

竹小雛子の圖

浮菖小雛子の圖

柳小雛子の圖

雲小雛子の圖

松小雛子の圖

梅小雛子の圖

松小雛子の圖

繪本寫寶袋八之卷

禽獸之部

掛繪屏風步障うけゑ ぶどう ふう ぶ しょう

畫錄障子押繪ゑり つけ ぶすま せり へ

梅小雛子

雛子



竹

野雞



野雞
 野雞は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。野雞は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。野雞は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。

野雞の住居

野雞の住居は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。野雞は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。野雞は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。



野雞の住居
 野雞の住居は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。野雞は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。野雞は、竹の葉を食む。竹の葉は、野雞の食糧なり。

鷹

金狩りまじり
齊うすい足金
集すくま
羽先ごらんさけひあり

青嘴あさけ
目の中かいら
うすい足金
まじりまじり
足指のまじり
仕らる

色角
こころんさ
まじりまじり

後まじりまじり
すい足金まじり
まじりまじりまじりまじりまじりまじり



鷲

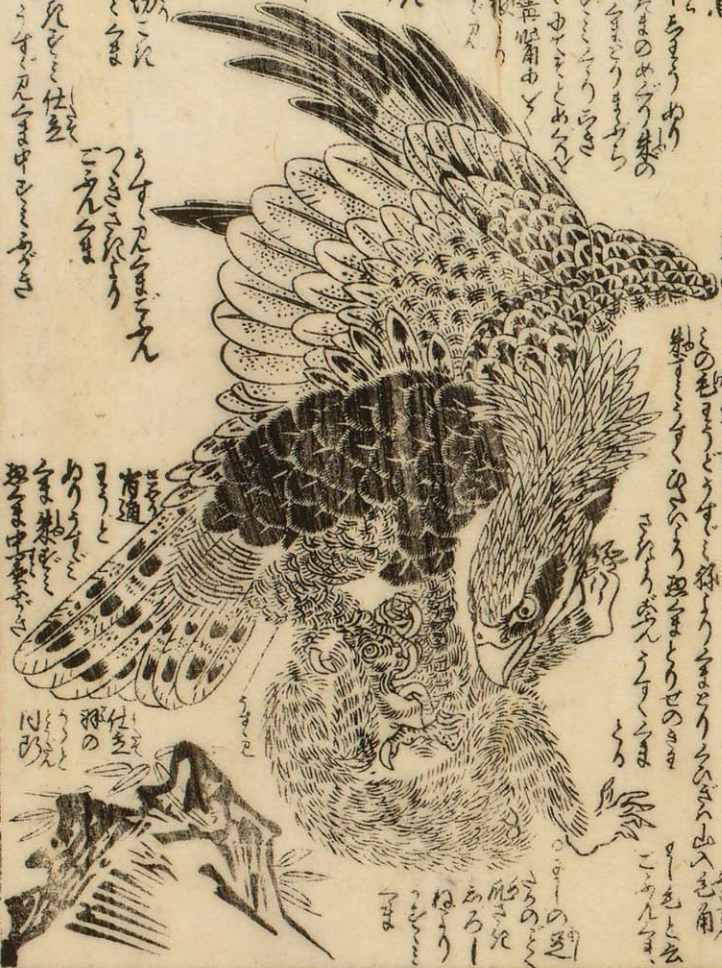
鷲の中まじりまじり
すい足金のまじりまじり
まじりまじりまじり
まじりまじりまじり

青嘴あさけ
目の中かいら
うすい足金
まじりまじり
足指のまじり
仕らる

色角
こころんさ
まじりまじり

後まじりまじり
すい足金まじり
まじりまじりまじりまじりまじり

風切これ
うすい足金まじり
まじりまじり
まじりまじり
まじりまじり
まじりまじり



色角
こころんさ
まじりまじり

鳥く頭く鶴



明くりのみく 野さのぢく
 脊をけりまうぞわらうま
 こころもくもく見れどくま
 朱くくくくくくくくくく
 くくくくくくくくくく

仕立ちよ月かから来すくつら
 足のひりふ毛布りは角菱
 足かやまのくくくくくく
 啄木くくくくくくくくく
 二何つふまう



鳥く鶴



雁 蘆

可成
 合杯
 為雲
 腹



二 雁

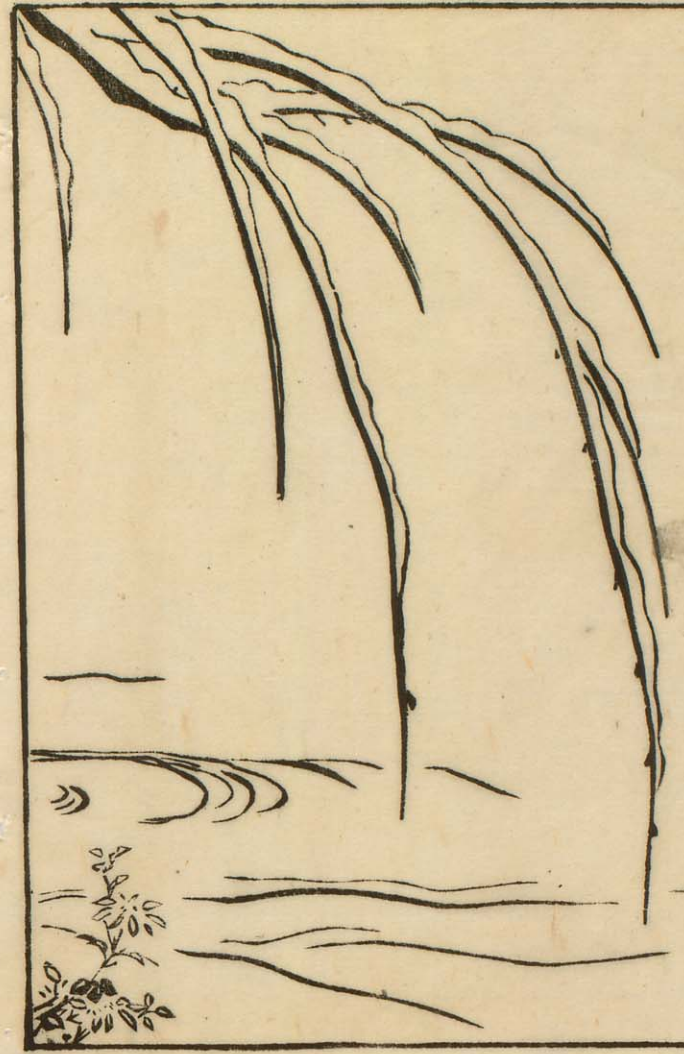
三 雁

白く
 生

下
 梅

二九
 う

柳下養鷺



見よ
全羽すま
あゝろの

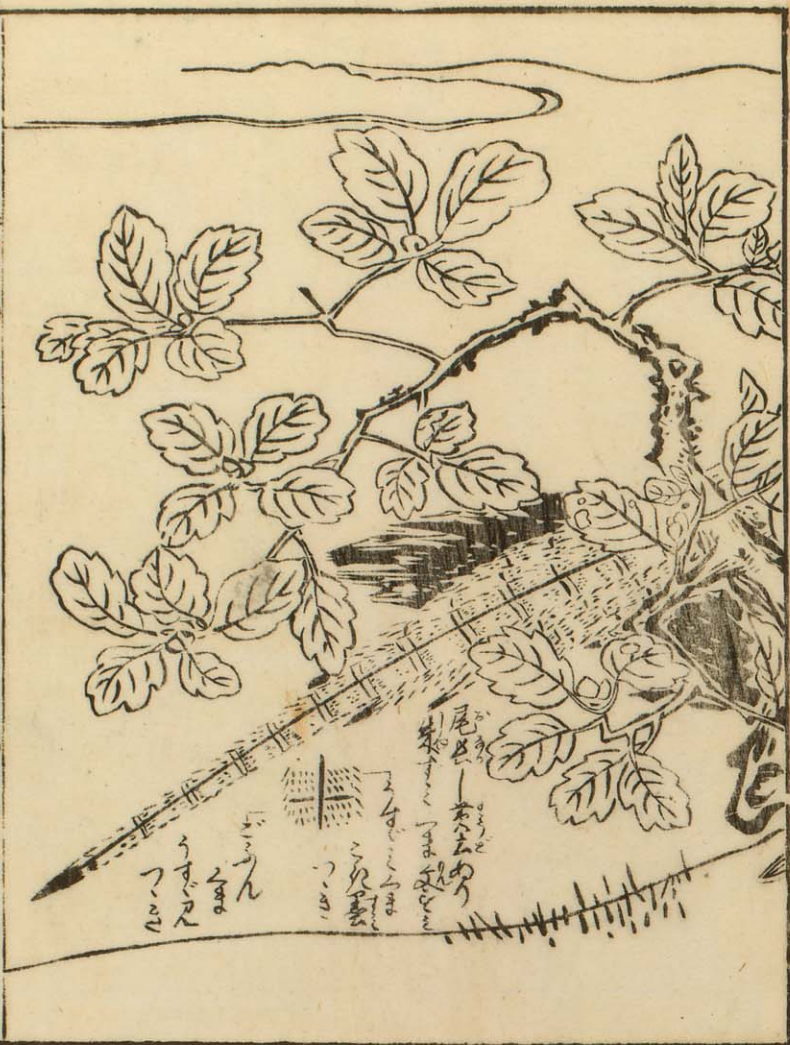
柳下
あゝろの
あゝろの
あゝろの

あゝろの
あゝろの



柏山雞

全羽若くは赤くは
雲文のくわんりん入
喙はくわんりん入
頬肉又朱の
生ふくつとさ





かみかみ
眼は
足は
さす
足は
のろ
ろ



雷
の
鳥
物

粟

下合白源あきくさごらんふりよとどか
 ねんつとさあきくさのいもま
 末の穂すと為あきくさまよとさう
 かかる葉中ろせうりりま
 あい穂とのいもくくはろく
 穂のいもま
 穂つと同一

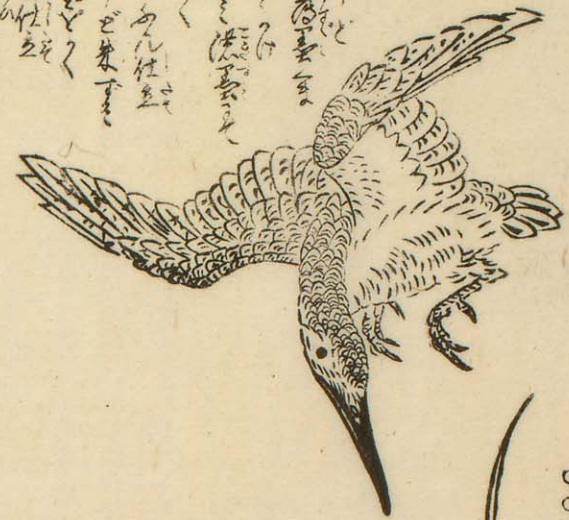
鶉

下合白源あきくさごらんふりよとどか
 生あきくさのいもまのいもくくはろく
 中穂ごらんふりよとどか
 うとま
 後ごらんふりよとどか
 腹中あきくさごらんふりよとどか
 顔朱あきくさごらんふりよとどか
 足下あきくさごらんふりよとどか
 ごらんふりよとどか



いもまのいもくくはろく
 うとまのいもくくはろく

水辺の鳴水辺の鳴



下よりと
わんがまを
粘す
うさぎ
羽先
後
子
嘴
眼
足

花
草
水
辺

鳥

松の鸚鵡松の鸚鵡



朱生エシクニ

見
合
眼
足
小
耳
丸



柳

燕

多
有
眼
そ
柳

呼カル
 新ツルレ
 空スウニ
 飛ハ

日ヒ
 高タカク
 飛ト

日ヒ
 久ク

日ヒ
 久ク

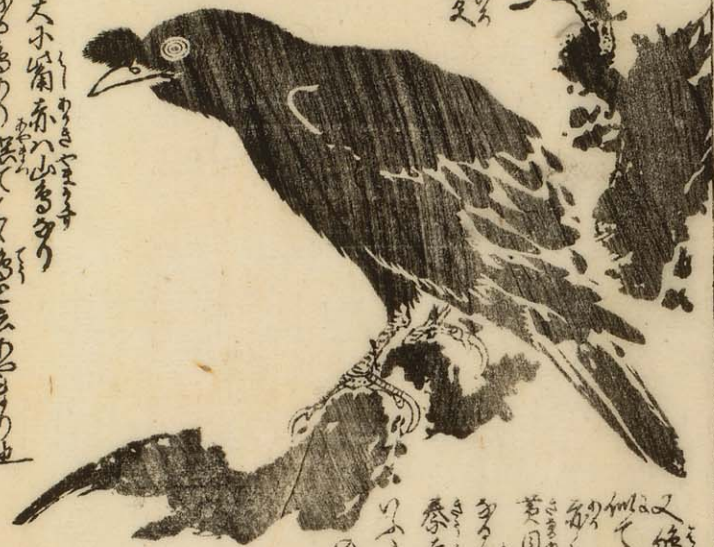


朱
子

砂
子

錦徳

錦徳は水に浴びて
 羽をとり小鳥一
 両羽の下を白くあり
 しく人などかぬ
 あり老をとり入れ
 羽の上に映るあり
 足大は白腹は黒足
 黄白く光あり
 俗名と云ふは
 鳥は種あり小
 小嘴のさる者あり
 ありは種あり
 羽白く光あり
 今武列小鳥と
 鳴き



又錦徳は
 羽は黒く足
 黄白く光あり
 俗名と云ふは
 鳥は種あり小
 小嘴のさる者あり
 ありは種あり
 羽白く光あり
 今武列小鳥と
 鳴き

岩小能音

月
 生
 全
 下



鳥

羽

尾

足

鳴

尾

下
 鳴
 足

